

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第1計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	協業組合 仙台清掃公社		
事業所の名称	協業組合 仙台清掃公社		
事業所の所在地	仙台市宮城野区日の出町一丁目7番15号		
主たる事業	管理, 補助的経済活動を行う事業所(88廃棄物処理業)		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	114 t-CO ₂	基準原単位	0.08158
	目標年度	2022 年度	目標排出量	113 t-CO ₂	目標原単位	0.080784
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	107 t-CO ₂	排出原単位	0.0832
			削減率	6.14 %	削減率	-1.99 %
	排出量等の増減理由	二酸化炭素排出量は6月以降の電気使用量が前年を下回ったことで大幅な減少につながった。ただし、原単位の指標である産業廃棄物取扱量が約8%減少したため、産業廃棄物取扱量あたりの二酸化炭素排出量の削減率がマイナス値となった。				
	第2年度	2021 年度	排出量	111 t-CO ₂	排出原単位	0.08551
			削減率	2.63 %	削減率	-4.82 %
	排出量等の増減理由	二酸化炭素排出量は、9月を除き11月頃まで減少傾向であったが、11月末から着工した医療廃棄物積替保管施設の建築工事により、1月以降の排出量が増加に転じたことで、第1年度よりも削減率が3.51%低下した。また、原単位の指標である産業廃棄物取扱量は前年度とほぼ横ばいになっていたため、二酸化炭素の排出量増加がほぼそのまま原単位あたりの削減率に反映された形となった。				
第3年度	2022 年度	排出量	123 t-CO ₂	排出原単位	0.09976	
		削減率	-7.90 %	削減率	-22.29 %	
排出量等の増減理由	原単位算定に使用している本社産業廃棄物処理センターでの産業廃棄物処理量は減少したが、電気使用量は増加した。2022年5月から竣工した医療廃棄物積替保管施設での電気使用量増加もあり、本社敷地全体の二酸化炭素排出量が増加した。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	56 %	目標年度	63 %
	第1年度	63 %	実施状況の説明等	基本対策は、従来と同様に実施した。第2年度は、SDGsに関する教育を実施予定。
第2年度	69 %	実施状況の説明等	基本対策は従来と同様に実施した。第3年度は社屋窓に遮熱フィルム貼付を実施する等で、空調効率向上を図る取り組みを行う予定。	
第3年度	75 %	実施状況の説明等	基本対策は、従来と同様に実施。SDGsに関する教育を、第2年度、第3年度にかけて実施した。また、増設した積替保管施設屋根に太陽光発電パネルを設置。	

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	燃費性能の良い車両の計画的導入		実施済
	デマンド管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		一部実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体の取り組み内容	実施状況
	排出係数の小さい電気事業者の選択	本社、産業廃棄物処理センター(本社内施設)の電気事業者として、二酸化炭素排出係数が少ないところを選定	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	仙台市エコにこゴールドマイスター認定の取得(2019年度以前は、エコにこマイスター認定)	実施済
	環境マネジメントシステムの導入	エコアクション21の認定取得	実施済
	廃棄物削減対策の実施	事業で発生する一般廃棄物の発生抑制のため、ごみと資源物の分別を徹底	実施済
	グリーン調達の実施	グリーン製品の購入	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	地域貢献として、地域清掃活動やボランティア等への参加	実施済